

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分  
 【発行日】令和 3 年 5 月 6 日 (2021.5.6)

【公開番号】特開 2019-50957 (P2019-50957A)  
 【公開日】平成 31 年 4 月 4 日 (2019.4.4)  
 【年通号数】公開・登録公報 2019-013  
 【出願番号】特願 2017-176297 (P2017-176297)  
 【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】令和 3 年 3 月 19 日 (2021.3.19)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

始動条件が成立したときに識別情報の可変表示を行う遊技機であって、  
表示手段と、  
遊技に対するのめり込み防止に関する注意喚起画像を前記表示手段に表示可能な注意喚  
起手段と、を備え、  
前記注意喚起手段は、  
少なくともデモンストレーション表示を実行可能な待機状態のときに前記注意喚起画  
像を前記表示手段に表示可能であり、  
前記待機状態において、前記デモンストレーション表示が終了した後に、前記注意喚  
起画像を前記表示手段に表示可能であり、  
前記待機状態は、停止している識別情報が表示される第 1 期間と、前記デモンストレー  
ション表示が実行される第 2 期間と、前記注意喚起画像が表示される第 3 期間とで構成さ  
れ、  
前記第 3 期間中に前記始動条件が成立した場合に、前記注意喚起画像の表示が中断され  
、前記第 1 期間にて表示されていた識別情報を可変表示し、  
前記遊技機が電断から復旧してから前記待機状態において前記注意喚起画像が表示され  
るまでの期間と、前記遊技機が初期化されてから前記待機状態において前記注意喚起画像  
が表示されるまでの期間とが異なる、遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 5】

(A) 始動条件が成立したときに識別情報の可変表示を行う遊技機であって、  
表示手段と、  
遊技に対するのめり込み防止に関する注意喚起画像を前記表示手段に表示可能な注意喚  
起手段と、を備え、  
前記注意喚起手段は、

少なくともデモンストレーション表示を実行可能な待機状態のときに前記注意喚起画像を前記表示手段に表示可能であり、

前記待機状態において、前記デモンストレーション表示が終了した後に、前記注意喚起画像を前記表示手段に表示可能であり、

前記待機状態は、停止している識別情報が表示される第１期間と、前記デモンストレーション表示が実行される第２期間と、前記注意喚起画像が表示される第３期間とで構成され、

前記第３期間中に前記始動条件が成立した場合に、前記注意喚起画像の表示が中断され、前記第１期間にて表示されていた識別情報を可変表示し、

前記遊技機が電断から復旧してから前記待機状態において前記注意喚起画像が表示されるまでの期間と、前記遊技機が初期化されてから前記待機状態において前記注意喚起画像が表示されるまでの期間とが異なる。

遊技機は、以下のように構成されてもよい。

(１) 遊技を行なう遊技機(たとえば、パチンコ遊技機１、スロットマシン)であって、

表示手段(たとえば、画像表示装置５)と、

前記表示手段の近傍に設けられ変化(たとえば、位置または形状が変化(変位、変形))可能な部品(たとえば、可動役物４００)とを備え、

前記表示手段は、前記部品の変化に対応した所定画像(たとえば、エフェクト画像Ｐ３、第２発光ユニット３２０～第９発光ユニット３９０から発せられる複数の点状の光Ｌ１のパターンＰ１を模した点状の光画像Ｌ２のパターン画像Ｐ２)を表示しているときに、前記所定画像とは異なる特定画像(たとえば、遊技者にとって有利な有利状態となるか否かを示唆するキャラクタ画像Ｃ１～Ｃ３などの示唆画像)を表示可能であり、

前記所定画像は、前記特定画像に重畳する第１部分と、前記特定画像に重畳しない第２部分とを含む(たとえば、図１７，図２０参照)。